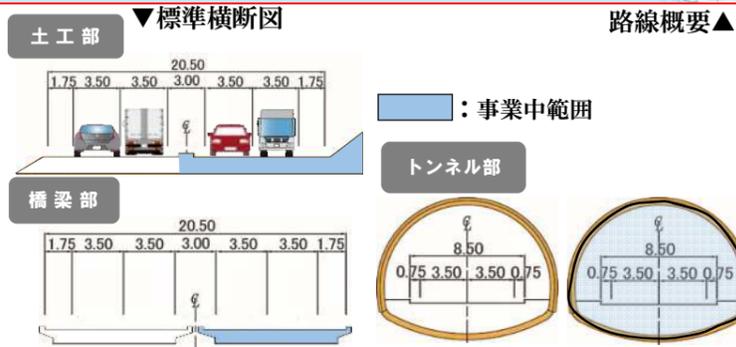


1. 事業概要



【事業概要】

- ◆計画内容: 暫定2車線区間の4車線化
- ◆計画延長: 7.3km
- ◆車線幅員: 3.5m
- ◆車線数: (現状) 暫定2車線 (計画) 完成4車線
- ◆計画交通量: 約12,600～13,000台/日 (令和22年)
- ◆事業許可(4車線化): 平成30年3月
- ◆事業費: 約549億円(うち4車線化事業 約291億円)



2. 事業の進捗状況

- 隼人西IC～加治木IC間は、令和4年11月30日に4車線供用開始。
- 隼人東IC～隼人西IC間は、橋梁工事・舗装工事・施設工事等を推進中。
- 工事着手率100%

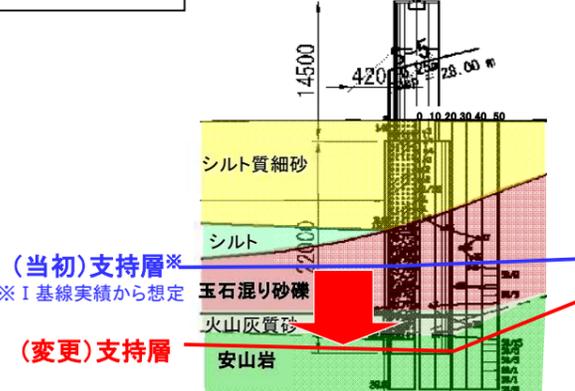


▲隼人西IC～加治木IC間 ▲野久美田トンネル坑口 ▲清水川橋

○事業期間の変更について(令和6年度⇒令和7年度)

清水川橋の基礎施工において、支持層が想定より深く杭長が増加したこと、また想定以上の大きさの玉石や硬質な層が確認され施工に時間を要したことにより、当初予定していた令和6年度の事業完了が困難であるため、令和7年度に変更。

支持層の変更



(当初)支持層*
※I 基礎実績から想定

(変更)支持層



最大800mmの玉石を確認

3. 事業の主な整備効果①(地域産業の活性化)

- 霧島市の製造品出荷額等は約3,640億円、鹿児島県内第2位で約2割を占める。
- また、近年の半導体関連分野等の製造・出荷が好調であることから、既往の工場の増設や市への立地に関する問合せが増加。
- 4車線化により、輸送の効率化や確実性が向上することで、地域基幹産業のさらなる拡大が期待される。

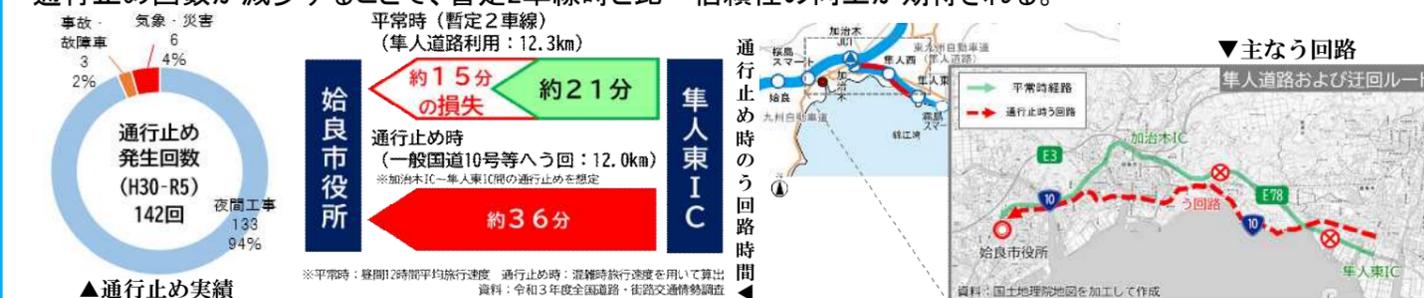


近年、半導体関連分野等の製造・出荷が好調であることから、電子部品・デバイス・電子回路製造業や運輸業者から立地に関する問合せが増加しています。
隼人道路が4車線化されることで原材料の調達や出荷ルート時間の短縮による経済効果や産業振興を期待しています。



3. 事業の主な整備効果②(ネットワークの信頼性向上)

- 工事や事故、災害等による通行止めが発生した場合、一般道のう回により所要時間が増加。
- 4車線化により車線規制等による維持補修の工事や点検が実施可能となり、通行止め回数が減少することで、暫定2車線時と比べ信頼性の向上が期待される。



4. 費用対効果分析の結果

- 便益(B)**: 費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である項目について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。
- 費用(C)**: 道路整備に係る建設費及び維持管理費で算出。
- 算出条件** 基準年: 令和6年度
適用費用便益分析マニュアル: 令和5年12月
交通量推計の基礎データ: 平成27年度全国道路街路・交通情勢調査(推計年度: 令和22年度)

便益(B) (現在価値: R6)	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	計	費用(C) (現在価値: R6)			費用便益比 (B/C)
					事業費	維持管理費	更新費	
事業全体	3,870億円	617億円	96億円	4,583億円	1,263億円	180億円	0億円	3.2
残事業	416億円	4億円	0.75億円	421億円	50億円	3.7億円	0億円	7.8

注) B/Cの算定に用いる事業費は、現在価値に換算した事業費であり、事業概要に記載している事業費とは異なる。

5. 対応方針(原案)

【事業継続】

- 関係機関の協力を得ながら、定時性や信頼性の向上など道路機能を早期に強化すべく、4車線化事業の進捗を図っていく。